

氏名： 坂元 章 (SAKAMOTO Akira)  
 所属： 人間文化創成科学研究科先端融合系  
 学位： 博士（社会学）（1992 東京大学）  
 職名： 教授  
 専門分野： メディア心理学、社会心理学、教育工学  
 URL： <http://www.hss.ocha.ac.jp/psych/socpsy/sakamoto/>  
 E-mail： sakamoto.akira@ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード / Keywords

メディア／心理学／テレビ／テレビゲーム／インターネット  
 Media / Psychology / Television / Video games / The Internet

## ◆主要業績

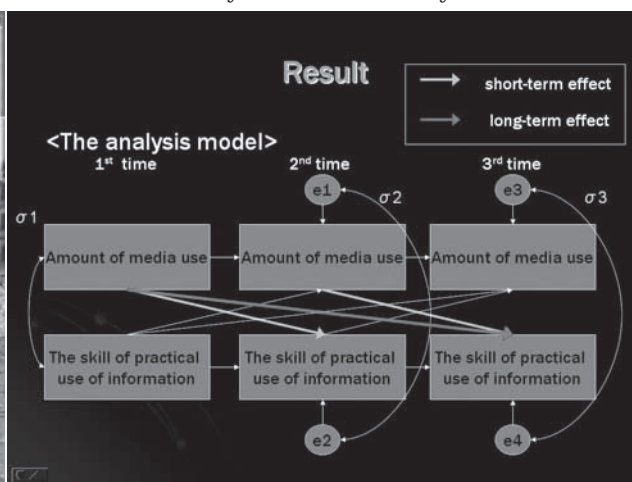
総数（57）件

- ・村田光二・坂元 章・小口孝司 (2008, 3) (編著) 社会心理学の基礎と応用 放送大学教育振興会 全 218 ページ
- ・内田伸子・坂元 章 (編著) (2007, 4) リスク社会を生き抜くコミュニケーション力 金子書房 全 196 ページ
- ・坂元 章・黒上晴夫・吉田広毅・今城徹・梅津靖子・近江玲・田島祥 (2008, 3) 評価部会報告 平成 19 年度 文部科学省委託「地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業」報告書 Pp 99-114.
- ・Takahira, M., Ando, R., & Sakamoto, A. (2007) Effect of Internet use on development of information literacy: A panel study with Japanese elementary school children. Computers in the Schools, 24(3/4), 65-82.
- ・坂元 章 (監修) (2007, 6) [冊子] あんぜん・あんしんケータイライフ ―携帯電話のルールとマナー― 東京法令出版

## ◆研究内容 / Research Pursuits

従来、「メディアと人との関わり」を研究課題としているが、2007 年度もそうした研究を進めるとともに、その成果を、論文、報告書、学会発表などによって報告した。また、2 冊の本を編集した。2007 年度における主要な仕事としては、文部科学省の「地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業」がある。これは、3 年間にわたるものであるが、2007 年度は最終年度であった。私は、この事業の評価部会長として、地上デジタルテレビの教育活用の効果について評価結果を取りまとめた。また、科学技術融合振興財団から 2 年間にわたって助成を受けた「テレビゲームと脳活動」に関する研究の結果も取りまとめた。この他にも、情報リテラシーやメディア・リテラシー教育の教材の開発に協力するなどの仕事を行った。

My research interests are in relationships between media and people, and in the fiscal year of 2007, I have still conducted some studies on this issue and presented articles and books where their findings are reported with my coresearchers. I have also edited two books. My important work of fiscal year of 2007 was the project of “digital television and education” of MEXT. We had conducted it for three years, and the fiscal year of 2007 was the last year. I was a leader of evaluation team of this project, and with the team members, I made a final report on the evaluation results of effects of digital television use in education. I have also performed the two-year project of research on “video games and brain activity” aided by Foundation for the Fusion of Science and Technology. In addition, I contributed to the development of some teaching materials of information literacy and media literacy.



## ◆教育内容 / Educational Pursuits

従来、学部および大学院において、社会心理学に関する授業を担当しており、その領域の研究、理論、方法などの指導を行っている。卒業論文、修士論文、博士論文の研究においては、メディアに関するテーマを持つ学生が多く、その分野の指導を行っている。例えば、2007年度の卒業論文、修士論文のテーマを挙げると、「テレビゲームにおける暴力描写の内容分析研究」「社会的育成におけるオンラインゲームの影響の検討」であった。また、2006年度、ハワイ大学教授で消費者心理学を専攻するニコラオス・シノディノス先生を招聘し、授業を担当していただいたが、2007年度も引き続き、その手配を行った。さらに、博士前期課程における新しい副専攻的プログラムである「社会コミュニケーション・プログラム」の設置と運営に尽力した。

I have some classes on the field of social psychology for graduate and undergraduate school students, and I have been teaching them its research, theories, methods, etc. In addition, most students belonging to my laboratory study issues on media to make their bachelor's, master's, and doctoral theses, and therefore I have been engaging in the guidance of the field. For example, as to the fiscal year of 2007, the titles of bachelor's thesis and master's thesis were "Contents analysis on violence scenes in video games," and "The influence of online games on the development of sociality." In the fiscal year of 2006, Professor Nicholas Synodinos, who taught consumer psychology at University of Hawaii, was invited to Ochanomizu University to have courses, and I managed this project in the fiscal year of 2007 as well as 2006. In addition, I also contributed to the establishment and management of "Social communication program", which is a new submajor program of master's course.

## ◆研究計画

現在、メディアの心理学的研究について、いくつかのテーマに関する研究を進めているが、今後は、それぞれの研究を充実させるとともに、この分野の研究の活性化や、その「メディア心理学」という一つの研究領域としての確立に尽力したい。

その一方で、メディアに関する現実的な問題に取り組むためには、他の分野や専門との連携が重要であり、それゆえ、共同研究にも意欲的に取り組みたいと考えている。

## ◆メッセージ

「メディアと人間の関わり」について知りたい方は、「メディアと人間の発達」(学文社、坂元 章編、2003年)をご参照ください。とくにテレビゲームについては、「テレビゲームと子どもの心」(メタモル出版、坂元 章、2004年)をご覧ください。

